A spiral-bound notebook with a light beige, textured cover and a dark brown border. The spiral binding is on the left side. The text is centered on the cover.

中学校における環境・エネルギー教育

品川区立小中一貫校伊藤学園

坂内 温実

第一分野 科学技術と人間

- 人間が利用しているエネルギーには水力、火力、原子力など様々なものがあることを知るとともに、エネルギーの有効な利用が大切であることを認識すること

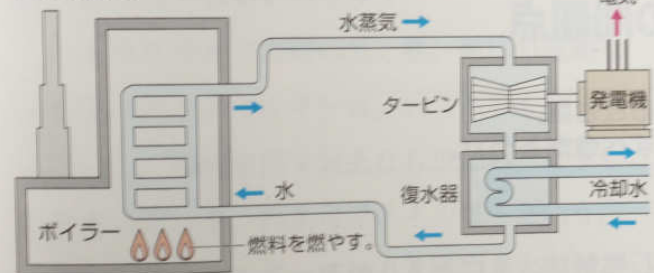
第二分野 自然と環境

- 学校周辺の身近な自然環境について調べ、自然環境は自然界のつりあいの上に成り立っていることを理解するとともに、自然環境を保全することの重要性を認識すること

1 エネルギー資源の利用を調べよう

わたしたちは毎日の生活のなかで、さまざまなエネルギー

(a) 火力発電



(b) 原子力発電

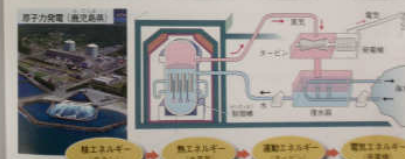
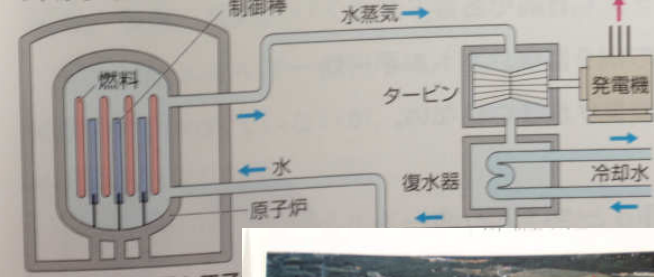


図2 主要な発電と発電のしくみ
 図2の図解 水力発電、火力発電、原子力発電に
 共通するしくみはなにか。

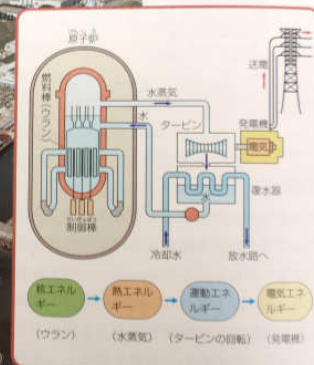


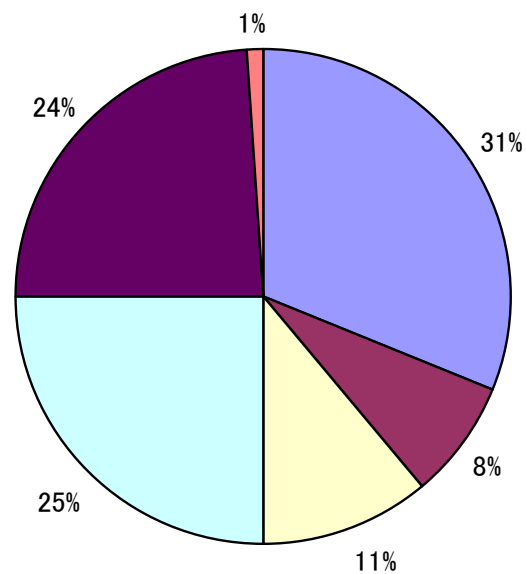
図3 原子力発電

中学校におけるエネルギー教育の現状

- エネルギー教育というよりエネルギーそのものの学習に重点がおかれがちである
- 学習する時期が公立中学校では中学3年生の受験期や卒業期にかかる
- 教える側の関心度

生徒の環境・エネルギーへの関心度は？

日本の発電割合(2005)



エネルギー白書2007年度版から作成

理科教育以外での取り組み

・しながわ版ISOとは

環境の国際規格「ISO14001」の手法を生かして、学校向けに作成したもの。

・具体的な活動

教室未使用時の電気を消し忘れ、余分な水を出さない、紙のリサイクル、給食を残さない、ごみの分別等

・活動形態

生徒会・委員会活動を通して行っている。